

平塚地域自衛隊入隊入校予定者激励会



令和6年2月17日(土)、平塚市教育会館(平塚市浅間町)において、平塚自衛官募集相談員会主催の「平塚地域自衛隊入隊入校予定者激励会」が開催され、自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所(所長 田中 勇一陸尉)が支援を行いました。

当日は、春の到来を思わせる温かさの中、国歌斉唱、主催者代表挨拶、来賓祝辞・紹介、祝電披露に引き続き、平塚地域の入隊入校者の22名が紹介されました。

続いて、座間駐屯地(相模原市南区)の第4施設群の隊員による「らっぱ吹奏」が行われ、らっぱ手の隊員が、部隊行動の号令として吹鳴され、自衛隊に入隊すると日常的に耳にすることになる「起床」、「消灯」などの「号音」を紹介すると、入隊入校予定者とそのご家族が普段聞いたことのないらっぱの号音に聞き入っている姿がとても印象的でした。

そして、先輩隊員による激励の言葉の後、最後に、入隊入校予定者を代表して秦野市在住の多田 紘人さんが、「私たちの入隊に関わっていただいた皆様からの激励と感謝を忘れず頑張ります」と力強く謝辞を述べると、参加者一同の盛大な拍手に包まれて激励会は閉式となりました。

神奈川県警察学校との意見交換会

意見交換会では、広報官からの「警察の職種の決め方」、「神奈川県内での警察官の募集状況」、「休暇日数」、「退職理由」などの多岐にわたる質問に丁寧に回答していただき、「(警察でも)募集に苦心しており、教育方法等を工夫し、新たに入庁した人員を減らさないうようにしている」という話も聞くことができた。

自衛隊に興味を持って入隊を考えている方は、警察や消防など、他の公安系公務員の採用試験の受験も検討していることが多く、自衛隊と警察は、募集対象者を巡って競合関係にある一方で、合同で職業ガイダンスを開催するなど、ともに募集難に立ち向かう仲間でもある。

横須賀地域事務所は、「募集対象者に対し、実情を踏まえた具体的な説明ができるようになった」と思っており、今後も様々なことに「挑戦」し、広報官のスキルを磨いて自衛官募集業務にまい進していきます。

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所(所長 田尾雅弘3等海佐)は、令和6年2月20日(火)、他の公安系公務員の採用や教育の実情に対する理解を深め、今後の募集活動に役立てるため、神奈川県警察学校(横浜市栄区)の研修を実施した。

当日は、神奈川県地方協力本部の各出張所等から16名の広報官が参加し、警察学校の担当者から、入校後の教育・訓練などの一連の流れについて概要説明を受けた後、校内の施設や学生の訓練風景を見学し、最後に意見交換会を実施した。



公安系公務員3種合同ガイダンスで自衛隊をPR!



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 細田2等空尉)は、令和6年2月25日(日)、横浜市青葉公会堂(横浜市青葉区)において、神奈川県警察及び横浜市消防との合同職業ガイダンスを開催し、50名以上の学生や社会人が足を運んでくれた。

自衛隊ブースでは、細田所長が自衛官になる方法や普段の勤務内容、福利厚生などの説明を実施したが、入隊後に部内選抜で幹部自衛官になったことや、米国等の高射部隊実弾射撃訓練などの自身の体験談や、米空軍等が実施している人道支援・災害救援共同訓練「クリスマストロップ」に航空自衛隊も参加していることなど、あまり知られていない話題も交えて話したことで、多くの参加者が興味を持って聞いてくれた。

説明後には「自衛隊を全く知らなかったので興味を持ちました」、「今回の説明を聞いて受験してみようと思います」などのうれしい声を聞くことができ、当日、採用試験の受験を希望した方や、後日、受験を決めてくれた方もいた。また、基地見学等に興味を持っている方もおり、更なる志願者獲得に向け、引き続き広報官によるフォロー等を行っていく。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も関係機関と協力しながら、自衛隊の海外での活動や魅力を多くの方に発信していきたい。一人でも多くの志願者獲得に向け、これからも地域に密着した募集広報活動を企画実施していく」としている。